

令和5年度 第2回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和5年12月22日（金） 10時00分～

場 所：湖西市役所防災センター2階

出席者：13人

会長	山本 一敏	湖西市 副市長
副会長	小倉 英昭	湖西市 都市整備部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学 准教授
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 取締役運行営業部長
委員	有友 和浩	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎（欠席）	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	新垣 賀規	遠鉄タクシー(株) 労働組合 執行委員長
委員	増田 秀典	中部運輸局 静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	平野 隆広 (代理：松井 基幸)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	安田 剛	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	藤田 悟吏	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	板倉 福男（欠席）	湖西市自治会連合会 会長
委員	木本 政博	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	森 宣雄	湖西市社会福祉協議会 会長
事務局	匂坂 隆拓	湖西市 都市整備部 都市計画課長
事務局	杉山 充宏	湖西市 都市整備部 都市計画課 課長代理
事務局	山下 祐介	湖西市都市整備部 都市計画課 主査
事務局	榊原 徹	湖西市都市整備部 都市計画課 主任

資料No.	配付資料タイトル
1	令和6年度コーちゃんバス、コーちゃんタクシー運行事業者選定結果について
2	令和5年度湖西市企業シャトル BaaS 実証事業の状況報告
2-参考	豊橋市地域公共交通活性化推進協議会 企業シャトル BaaS 社会実験中間報告資料
3	地域公共交通計画の進捗管理について
3-1	成果指標・個別事業の事務局評価について
3-参考1	湖西市地域公共交通計画 体系図
3-参考2	評価の指標
4	地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の報告等について
4-1	様式
5	静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について
5-1	様式
6	湖西市における公共交通の令和6年度改正について
6-1	コーちゃんバス ルート案
参考	乗合事業に係る協議運賃の取扱いについて

1 開会

2 会長挨拶

本日はお忙しい中、湖西市地域公共交通会議に御出席いただき、誠にありがとうございます。

委員の皆様におかれましては、日頃から市の公共交通行政に対しご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

先日、ライドシェアの関係で、「活力ある地方を創る首長の会」の中で、国交省へ制度の改正の要望を行ってきました。その際、自動車局長と話をさせていただき、非常に前向きに検討しているということでした。その中で、「共存共栄」ということを地域にもお願いしたいということをおっしゃっていました。また、湖西市、浜松市、磐田市及び遠州鉄道の4者で、既に勉強会を行っております。湖西市だけの公共交通だけでなく、地域全体で考えていかなければ、なかなか前へ進んでいかないと思っておりますので、委員の皆様とも情報共有した上で、検討していきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

本日は、湖西市企業シャトルBaaS実証実験についてなどの報告事項が2件、湖西市地域公共交通計画の進捗についてなどの協議事項が3件ございます。また、令和6年度湖西市の公共交通の運行改正についてご討議をいただく予定です。

委員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の本市の地域公共交通の改善に活かしていきたいと考えておりますので、本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

3 報告事項

(1) 令和6年度コーちゃんバス、コーちゃんタクシー運行事業者選定結果について

<事務局>

- 資料説明（資料1）

(2) 令和5年度湖西市企業シャトルBaaS実証事業の状況報告

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<松井氏>

- 社会実装の検討について、全路線ではなく、1路線でも社会実装し、随時路線を増やしていくようなイメージか。

<事務局>

- その通りです。先ほどのアンケートの結果で必要と認められて、実効性が認められる路線について一部でもあれば、社会実装したいと考えています。

<座長>

- 半年のみの運行である実証実験から定常的に運行される社会実装になれば、利用状況等の効果が変わってくると思われる。現状において、ニーズが高いところから始めていき、地域住民へ利便性などが浸透していけば、他の路線でも社会実装ということはあると考えられるため、この進め方について賛成である。

<増田委員>

- 6ページの説明の中で、新所原地区の住民への周知喚起についての課題があるということだったが、何か周知で検討していることはあるか。例えば、参考資料で記載があるように、豊橋市で行っている対面による直接説明の実施や広報活動などの予定はあるか。

<事務局>

- 豊橋市さん同様、自治会や老人クラブ、BaaS沿線の地域住民への直接説明、報道発表及び市の広報誌などの広報活動はさせていただいております。また、先ほど説明させていただいた11月から開始したオンライン決済や、11月13日から開始したデンソー路線の一部区間での予約不要乗車の周知を市ウェブサイトや今後配付する地域住民向けアンケートと一緒に周知チラシを同封する予定です。

<座長>

- アンケートの配付について大学として手伝っているが、広報誌だと全ての方に情報が行き届かない場合があると思う。本日からアンケートと一緒に周知チラシの配付を開始しており、チラシを通じてある程度周知できればと思っており、周知の効果がこの先残りの1ヶ月間に利用者層を掘り起こせないかと考えている。高齢者以外の利用ニーズの有無についてまだわかっておらず、例えば、子育ての世代や子供など、現状利用していない方のニーズも探りたいと考えている。
- 予約なし乗車の人数が2人ということであるが、実績の記録はどのようにして把握しているか。

<事務局>

- デンソー様からの実績表を基に、利用日時や乗降バス停の把握をしている。

<新垣委員>

- 自家用有償運送制度を活用しているということだが、我々遠鉄タクシー労働組合としては、「ライドシェア」については全面的に反対している。我々が認めているのは、浜松の庄内地区で行われているような共助型交通サービス。交通空白地における市民や町内の方で行うようなサービスについては、普段の生活で移動が困難となるという理由で、歩み寄っている部分である。ライドシェアについて、今後浜松の庄内地区のような取り組みを行っていかようとしているのか、それともアメリカや中国が行っているようなライドシェアを進めようと考えているのか。

<事務局>

- 先ほど副市長の山本からも話がありましたが、湖西市、浜松市、磐田市、遠鉄タクシー様で勉強会を行いました。ライドシェアについては、報道等で少しずつ国の方針などの情報が出てき始めたように感じます。それらの情報からも、タクシー会社さんと「共存共栄」の方向で進めていくという印象を受けております。まずは、このような情報を収集し、タクシー会社さんと「共存共栄」ということを前提として、意見交換を進めながら検討していきたいと考えております。

<座長>

- 私の把握している範囲でお伝えすると、おそらく日本の場合、今までの日本の仕組みを全部変更し、海外のライドシェアを導入することはないと思う。安全性が問題となっており、解決するために、運行管理をタクシー事業者さんをお願いするなど、共存していくことが必要になると思う。現在出ている情報から、タクシーが全く運行していない地域については、運行管理はオンラインなどのIT技術を活用するなど、日本型のライドシェアの仕組みを検討していくことになると思う。

<新垣委員>

- ありがとうございます。利便性を先行して進めてしまった結果、安全性が担保されないようなことはいけないと思っている。今後、しっかりと力を合わせて、地域を守るような取り組みを進めていければいいと考えている。

<座長>

- 安全性をしっかり担保すべきということで、日本の場合は海外型のようなライドシェアをすぐに導入せず議論していると思っており、今後も共存して検討を進めていくべきだと考える。

4 協議事項

(1) 地域公共交通計画の進捗について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<増田委員>

- 70歳以上の満足度が低く、市民意識調査の結果でコーちゃんタクシーに関する意見、要望がなかったということだが、高齢者にとって本来タクシー事業は有難いものだと思う。意見がなかったということは、説明の通りコーちゃんタクシーという制度を知らない可能性が非常に高いと考えられる。対策の中で説明あったが、是非周知を徹底していただきたいと思う。また、この会議にも利用者の代表者が参加しているため、委員の皆さんもPRしていただくよう協力をお願いしたい。

<座長>

- 夏休み小学生50円バスについて、他の自治体の状況を確認すると、今年の利用はかなり増えたことで、なぜ半分近くまで減ったのか疑問。猛暑やコロナの状況は同じはずなので、やはり周知方法が影響していると思う。カウント方法に変更はあったか。また、利用者が多いアメニティプラザのプールを利用できなかったということはなかったか。

<事務局>

- カウント方法に変更はございません。また、アメニティプラザに確認したところ、プールが利用できなかったことはなく、むしろ昨年よりも利用が伸びているということでしたので、やはり周知が不足していたかもしれません。来年度は周知を徹底し、KPI目標の達成を目指します。

<座長>

- コーちゃんタクシーについて、乗合率が目標の1.3に近づいてきたが、収支率は目標達成が厳しい見込みということだが、今後利用者数が増えた場合、利用者数のKPIは達成できても、乗合率が現状のままだと、収支率は改善しないと思う。そのため、乗合率については、目標よりも高い乗合率を目指さないといけないと思う。利用者が増えれば乗合の可能性も高まり、自然と乗合率が上がっていく可能性は高いため、説明の通り、まずは周知を徹底していくべきだと思う。

<座長>

- 協議事項(1)「地域公共交通計画の進捗について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の報告について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<増田委員>

- 重複のお願いとなるが、本日は利用者代表の方も出席しており、地域住民や利用者が公共交通を育てていく必要があると思うため、意識して一度は乗車いただきたい。

<座長>

- 協議事項（2）「地域公共交通確保維持改善事業の事業評価の報告について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

(3) 静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について

<事務局>

- 資料説明（資料5）

<座長>

- 協議事項（3）「静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 討議事項

(1) 湖西市における公共交通の令和6年度運行改正について

<事務局>

- 資料説明（資料6）

<榊原委員>

- 4つの案の内、案②と案④について鷺津循環線の機能は残るという提案か。

<事務局>

- その通りです。

<榊原委員>

- 承知した。今後来年10月の改正に向けて討議を重ねていくということだが、弊社では既に来年の経営計画を立てており、運転手の手配等の準備もあるため、また情報共有していきたい。

- コーちゃんタクシーの分析について我々も同じ認識であるが、補足として、降車回数が4位のクックマート、5位の遠鉄ストアの商業施設については、復路の利用が多い。恐らく、往路については、定時定路線かつ予約が不要であるコーちゃんバスを利用し、気軽に買い物し、復路については、荷物があるため、コーちゃんタクシーを利用して自宅まで帰宅する、といった利用が多いと予測される。また、コーちゃんバスのメリットは、予約する必要がなく、同一方向に大量輸送できること、一方でコーちゃんタクシーのメリットは、バス停まで行く必要がなく、1時間毎に予約乗車が可能であることだと思う。バス、タクシーそれぞれの強みと弱みを見ていけば、自ずと路線の案ができてくると思う。

<事務局>

- ご意見ありがとうございます。ご意見を伺いまして、コーちゃんバスとコーちゃんタクシーの役割を明確に、両方を利用したモデルパターンを記載した周知チラシの作成も検討すべきと思いました。

<木本委員>

- 運転免許を返納した後の移動手段がないと非常に困るため、時間帯が合わないのか、経路が良くないのか、周知が悪いのか等、今後老人クラブの理事会などで具体的に本日の会議内容を共有したいと思う。

<事務局>

- 今回の4つのルート案について、必ずしもこの4案の中から選ぶということではなく、皆様のご意見も踏まえてルート案を検討していきたいと思っておりますので、ご意見、ご要望をお願いします。

<増田委員>

- 人材不足などの課題もあるため、明確な役割分担をして、バスの特性、タクシーの特性をそれぞれ生かした形で、バス路線の編成を検討する必要があると思う。また、繰り返しになるが、利用者の意見が非常に大切であるため、行政だけの目線ではなく、是非利用者の意見を尊重して検討をお願いしたい。

<座長>

- コーちゃんタクシーで行き先の分析を行っているが、同様にコーちゃんバスでもどこのバス停で乗車し、どこのバス停で降車したかの分析を行えるか。例えば、鷺津循環線をなくして残りの路線でカバーするとなった場合、鷺津地区内をどのように移動しているか等、路線検討の際の参考になると思う。

<事務局>

- 現状OD調査は年1回行っています。ただ、1日のみのデータですと信憑性が低いため、例えば、運転手さんに利用者の動向を確認したり、OD調査の実施回数を増やしたりといったことを検討していきたいと思っております。

<座長>

- 直近のOD調査のデータだけでなく、過去のデータも踏まえて検証した方がいいと思う。また、岡崎循環線の利用状況が悪いこともあり、どの案も廃止の予定であるが、代替の公共交通として、コーちゃんタクシーや部分的にBaaSでカバーするということが考えられる。湖西市の公共交通としての大きな方向性に係ると思うがいかがか。

<事務局>

- ありがとうございます。岡崎循環線は現状収支率が悪いため、廃止とするか、別ルートとするか、コーちゃんタクシーやBaaSも含めた全体最適の視点で検討を進めていきたいと思えます。

<座長>

- 大きな改正になる可能性が高いため、委員の皆様は今後もそれぞれの立場からの意見等をお願いしたい。事務局は、今回の意見等を踏まえ、引き続き検討をお願いしたい。

6 その他

<増田委員>

- 資料説明（参考資料「乗合事業に係る協議運賃の取扱いについて」）
- 補足として、例えば複数の運行事業者が運行する場合は、運行事業者を分けて協議会を開催する必要がある。

7 閉会

<事務局>

- 次回の湖西市地域公共交通会議の日程については、令和6年3月12日（火）午前10時から湖西市防災センターで開催を予定しております。以上をもって、令和5年度第2回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上